

中部地区 人・農地プラン

| 市町村名 | 対象地区名(地区内集落名) | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|-----------------|------------|----------|
| 箕輪町 | 中部地区(上古田、中原、松島) | 令和1年11月15日 | 令和2年3月6日 |

1 対象地区の現状

| | |
|---------------------------------------|----------|
| ①地区内の耕地面積 | 409.5 ha |
| ②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者または耕作者の耕作面積の合計 | 290.0 ha |
| ③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計 | 153.5 ha |
| Ⅰ うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 30.0 ha |
| Ⅱ うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 90.1 ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 36.2 ha |
| (備考) | |

④の面積は、「中心経営体一覧」の「今後の農地の引受けの意向」の「経営面積」の合計から「現状」の「経営面積」の合計を差し引いた面積

2 対象地区の課題

- ・畑作地域では、酪農家への賃貸借による営農傾向が多く、酪農家が高齢化等によりできなくなった場合の農地の管理が心配である。
- ・水田地域では、個人経営の比率が高いため、農地の担い手への集積が進んでいない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・中心経営体の農地の希望を地図で把握する。
- ・地区内にモデル地域を決め、農地の集約(分散錯圃解消)を図る。
- ・将来の担い手を地区外含めて確保できるよう働きかけを行っていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

- ・地図を用いたモデルエリアを設定し、集約に向けた検討、農地所有者への働きかけを行なう。
- ・若手農業者、新規就農者の確保に向け情報発信を行なう。
- ・荒廃地を解消し、担い手に集約、集積を行なう。

5 地域の農業や農地、農的暮らしや自然環境を維持・利活用するための計画・目標

- ・地域内営農組合活動の充実を図り、活動費の確保と人的交流を図る。(計画)
- ・水田地域において、大規模担い手以外の個人経営の水田を将来に向けた維持管理の継続。(計画)
- ・若手就農者、女性就農者の掘り起こし、育成により、地域の担い手確保を行い、営農組合活動、個人経営に必要な環境を整える(目標)

中心経営体一覧

| 属性 | 農業者 (氏名・名称) | 現状(単位:ha) | | 今後の農地の引受けの意向(単位:ha) | | |
|-----|----------------|-----------|------|---------------------|-------|-----------|
| | | 経営作物 | 経営面積 | 経営作物 | 経営面積 | 農業を営む範囲 |
| 認農 | 1 | 果樹 | 1.9 | 果樹 | 1.9 | 中部 |
| 認農 | 2 | 水稲、そば | 1.0 | 水稲、そば | 1.1 | 中部、南部 |
| 認農 | 3 | 果樹 | 3.0 | 果樹 | 3.2 | 中部 |
| 認農 | 4 | 水稲 | 1.3 | 水稲 | 1.8 | 中部 |
| | 5 | 水稲 | 4.6 | 水稲 | 6.4 | 中部 |
| 認農法 | 6 | 水稲、そば | 29.9 | 水稲、そば | 33.9 | 全地区 |
| 認農 | 7 | 花卉 | 8.3 | 花卉 | 8.5 | 北部、中部 |
| | 8 | 果樹 | 0.4 | 果樹 | 0.4 | 中部、南部 |
| 認農法 | 9 | 野菜 | 4.5 | 野菜 | 5.2 | 北部、中部、南部 |
| 認農 | 10 | 水稲 | 19.7 | 水稲 | 21.7 | 全地区 |
| 認農 | 11 | 水稲 | 6.1 | 水稲 | 6.1 | 中部、南部 |
| 認農 | 12 | 果樹 | 0.0 | 果樹 | 0.5 | 北部、中部、南部 |
| 認農 | 13 | 飼料用作物 | 1.3 | 飼料用作物 | 1.8 | 中部、南部 |
| 認農 | 14 | 水稲、麦 | 4.4 | 水稲、麦 | 24.4 | 中部 |
| | 15 | 水稲、花卉 | 0.9 | 水稲、花卉 | 2.5 | 北部、中部 |
| | 16 | 果樹 | 1.5 | 果樹 | 1.9 | 中部 |
| 認就 | 17 | 野菜 | 0.4 | 野菜 | 0.6 | 中部 |
| | 18 | 放牧 | 0.0 | 放牧 | 0.0 | 中部 |
| 認農 | 19 | 飼料用作物 | 1.0 | 飼料用作物 | 1.0 | 中部、南部 |
| 認農 | 20 | 飼料用作物 | 1.7 | 飼料用作物 | 1.7 | 北部、中部、南部 |
| 認農 | 21 | 飼料用作物 | 1.1 | 飼料用作物 | 1.1 | 中部、南部 |
| | 22 | 水稲 | 0.0 | 水稲 | 2.5 | 北部、中部、東箕輪 |
| | 23 | 水稲 | 2.5 | 水稲 | 3.5 | 中部 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 計 | | | 95.5 | | 131.7 | |

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。